

科目	臨床看護総論Ⅱ	時期	2年次前期	単位数	1単位	実務経験
		担当教員	若松 弘也 他 國本 康弘 他	時間数	30時間	○
目的	1. 手術療法を受ける患者、また生命の危険や激しい体内変化が予測される患者の看護実践に必要な基本的知識・技術を学ぶ。 2. リハビリテーションを受ける患者の看護実践に必要な基礎的知識・技術を学ぶ。					
目標	1. 救急看護に関する知識および心肺蘇生法の技術を習得する。 2. 手術療法に伴う侵襲と治療について学ぶ。 3. 麻酔に伴う侵襲と麻酔時の看護について学ぶ。 4. リハビリテーションの概念や目的を理解する。 5. 作業療法が必要な患者の看護を学ぶ。 6. 理学療法が必要な患者の看護を学ぶ。 7. 言語聴覚療法が必要な看護を学ぶ。					
学習内容	<b>【麻酔・蘇生学】</b> 1. 心肺蘇生 2. 酸素療法と呼吸の観察 3. 輸液・輸血療法 4. 栄養療法（経管栄養、静脈栄養） 5. 緩和ケア（苦痛の軽減、家族の支援） 6. 麻酔とは 7. 麻酔の実際の流れ	<b>【リハビリテーション】</b> 1. リハビリテーション概論 2. 作業療法とは 疾患別作業療法 リハビリテーション看護の基本的な方法 3. 理学療法とは 障害の評価 リハビリの実際 4. 回復期リハビリテーション 5. 作業療法 ADL, IADL 高次脳機能障害を患える患者の関わり方 6. コミュニケーション障害 嚥下障害 7. 移乗、起き上がり（演習）				
授業形態	講義、演習					
教材	系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 医学書院 新体系 看護学全書 別巻 リハビリテーション看護 メヂカルフレンド社					
評価	終講試験 BLS 演習					